



～挑戦・輝き・感動～

(いのち)  
生命 輝く学校

平成29年1月10日(火)

相模原市立共和中学校

平成28年度 第9号

## 1戦1勝

教務主任 長田 裕介

年末になると、その年に亡くなられた著名人を悼む記事や番組が特集される。昨年もまた、多くの方々が、惜しまれつつ、この世を去られた。中でも、私の心に衝撃と悲しみをもたらしたのは、元横綱千代の富士の死であった。

1970年代後半、それまでの力士のイメージを覆す新しいタイプの力士が出現した。身長は180センチ程度、体重は100キロにも満たず、他の力士と比較すると、明らかに見劣りする。しかし、彼は違った。精悍な顔つき。眼光は刺さるほどに鋭く、対戦相手を睨み付けて離さない。痩せてはいるものの、筋骨は隆々としている。肝心の相撲の取り口はと言えば、足腰の強さによる粘りとバネ、機敏な動き、気性の荒さからくる強引な攻めを持ち味とした。そして、相手が格上であればあるほど、闘志をむき出しにし、本領を発揮した。

日々の鍛錬とたゆまぬ精進によって、やがて彼は、横綱に上り詰めた。そして、「小さな大横綱」と称され、実力、人気ともに角界の歴史に名を刻む、名力士となった。

幕内での優勝は実に31回、本場所での連勝記録は53連勝、そして、通算の勝ち星は、1045勝という偉大なる記録を、彼は残した。大記録である1000勝を達成したときのインタビューへの彼の答えは、聴く者に感銘を与えた。「次の目標は？」と問われ、彼は、やや間を置いて、「1001勝です。」と答えたのである。1050勝や1100勝という答えを期待していた私は、己の浅はかさを恥じた。と同時に、1勝を挙げることは、かくも厳しく困難を極めるものだと思った。

1戦1勝。その裏にある壮絶な努力。彼は目の前にある1戦に勝つことを目標にして、心身を鍛錬し、技を磨き続けていたのである。

さて、新しい年が明けた。彼の足下にも及ばないが、彼に倣い、1戦1勝を一日一生に置き換え、日々精進していきたい。

## 29年度、ここが変わります!!

遅ればせながら、明けましておめでとうございます。  1月 

本年も本校の教育活動へのご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

さて、本年度も残り三か月。私ども教職員は、既に10月末から来年度に向けて様々な準備を進めているところです。

さて、平成29年度、本校の教育活動における主な変更点をお伝えします。

なお、ご質問等がありましたら、遠慮なくお問い合わせください。

### ①市内初の「難聴級」が開設されます

⇒市教育委員会から要請があり、耳の不自由な生徒に対応する学級が新設されます。中学校には市内で一つしかない学級のため、交通至便な共和中学校に開設されることとなりました。

つまり、本学級は市内全域が通学対象となります。場所はC棟昇降口のすぐ横で、既に整備が終わりました。



### ②同好会活動の見直しを図ります

⇒適正な同好会活動を図るため、長期休業中や休日の活動の在り方について、継続検討をいたしました。

来年度の方向性については、具体的事項が決定次第、お知らせをまいります。

### ③体育館格技場の天井が撤去されます

⇒現在、工事中で使用できませんが、卒業式までには終了する見込みです。

これも東日本大震災による天井落下事故を受けての対応です。

ちなみに、来年度、各教室のエアコン工事が行われる予定となっています。しかし、実際に使用できるのは、平成30年度からです。

